

2004年1月

人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのがわかります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地球画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地球画像)。

海の色は変更してあります

地球画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地球画像提供:

NASA Earth Observatory

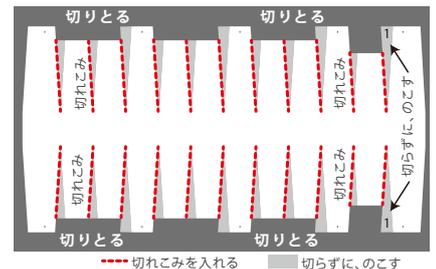
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



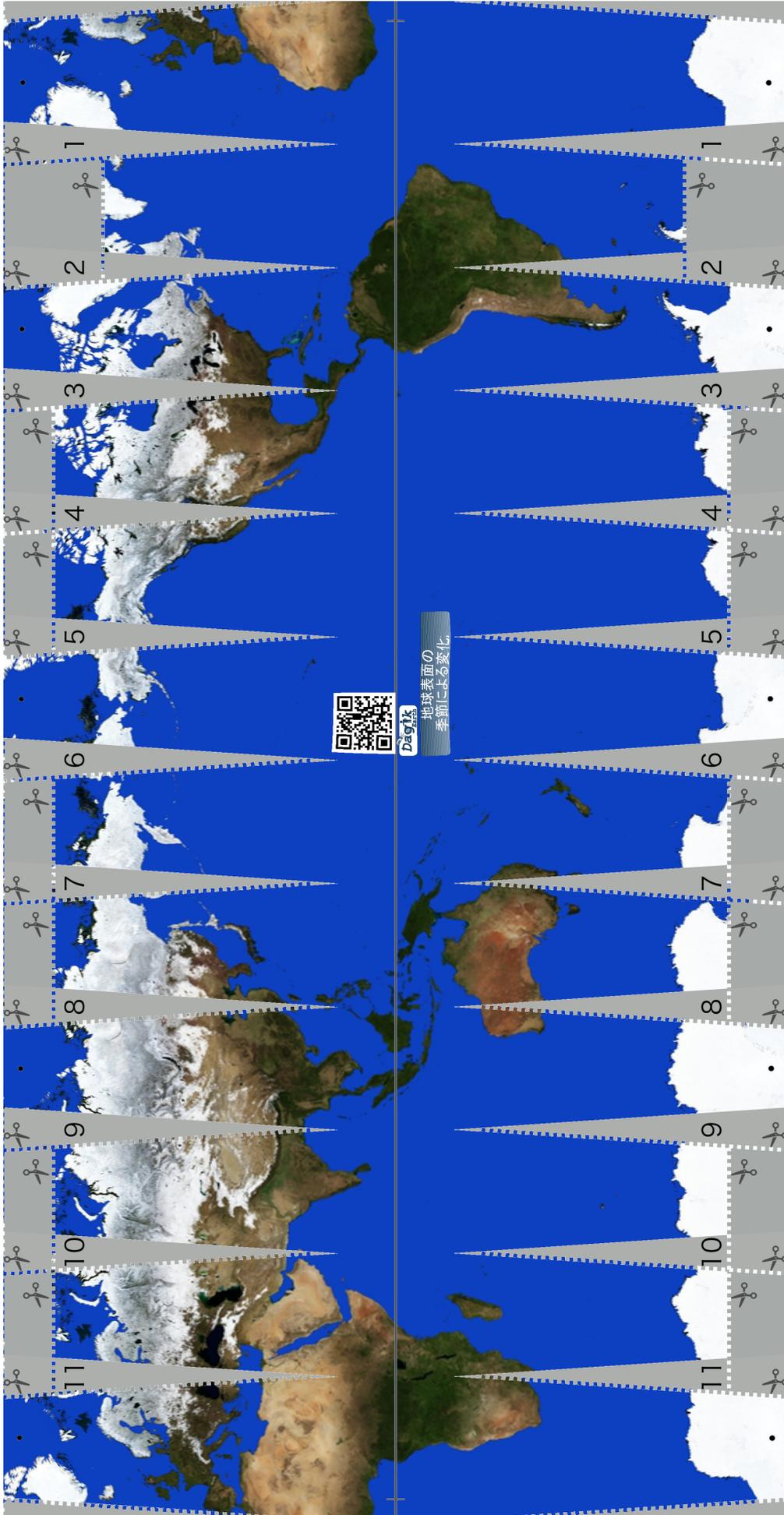
点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものできると、きれいになります。



地球表面の季節による変化

## 2004年2月

人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

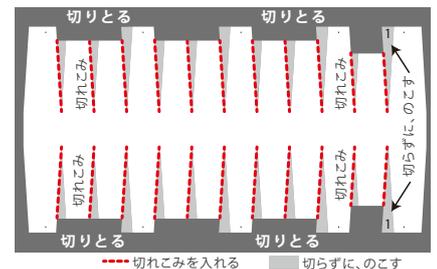
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



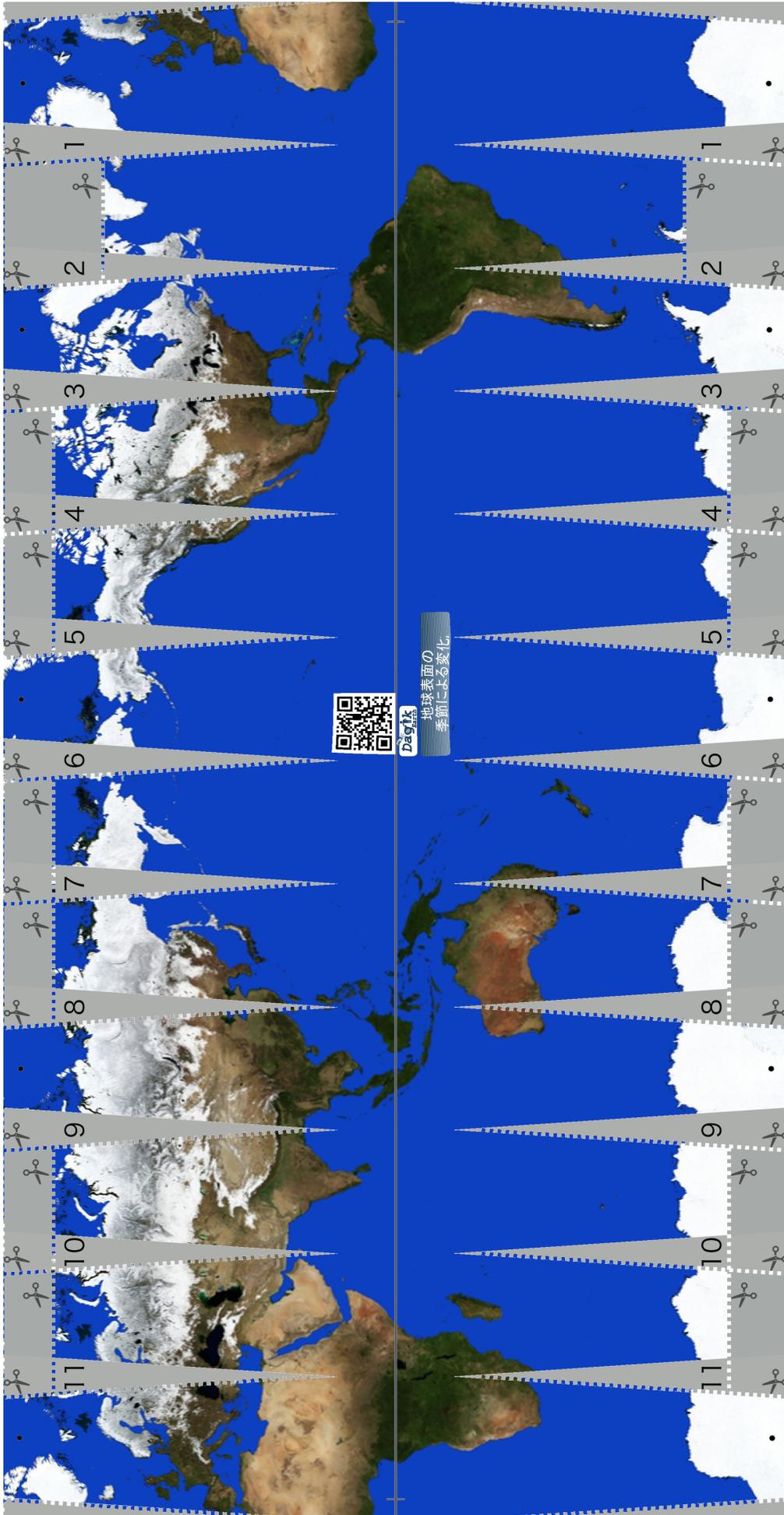
点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものできると、きれいになります。



地球表面の季節による変化

人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

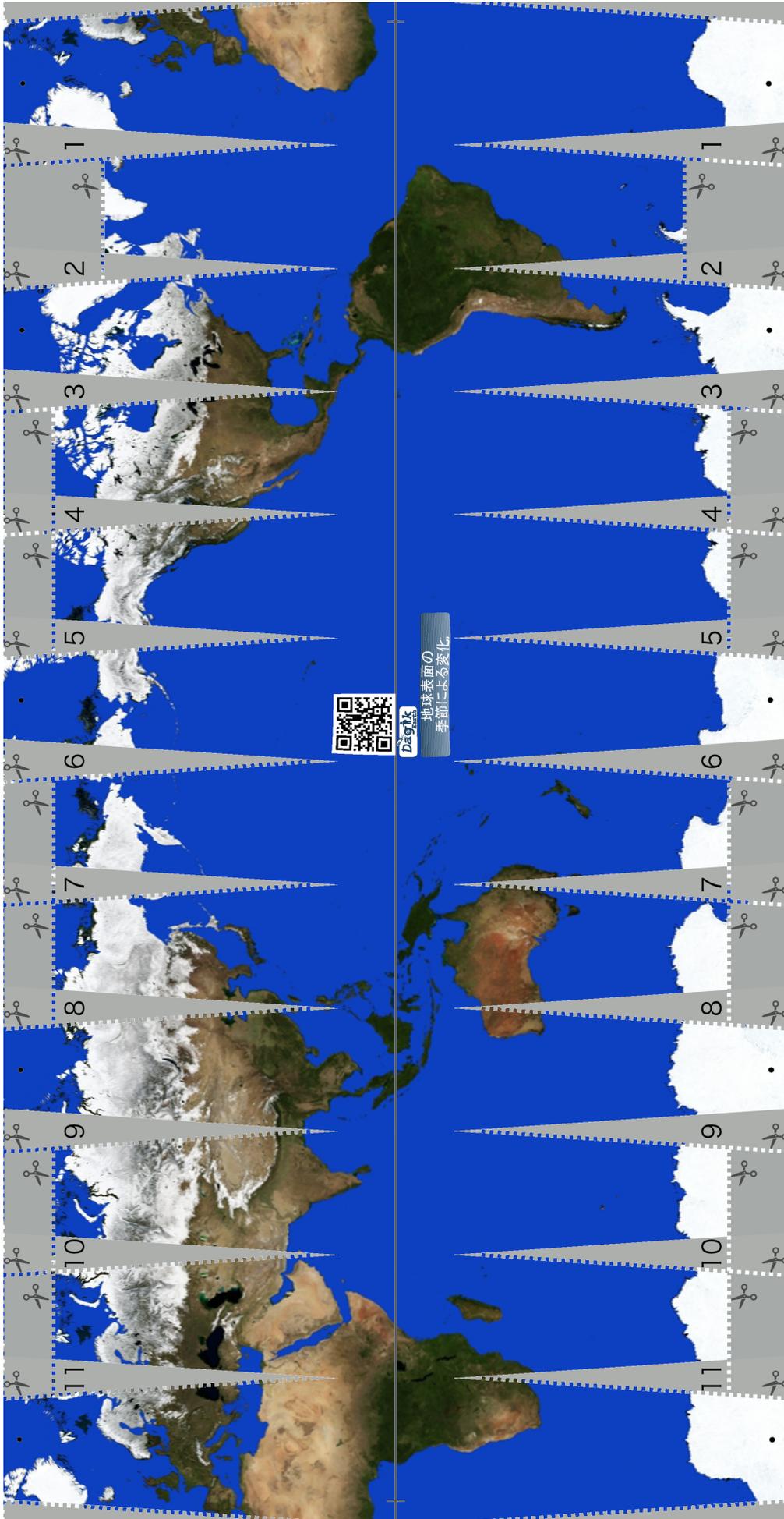
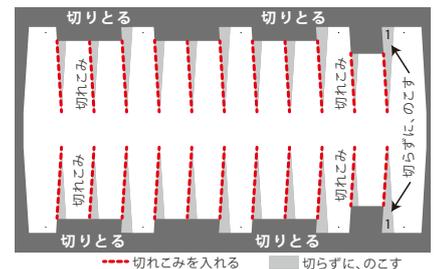
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



2004年4月

人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

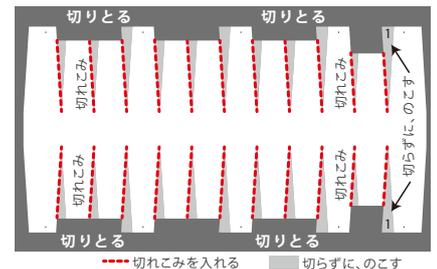
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

手作り地球儀の作り方

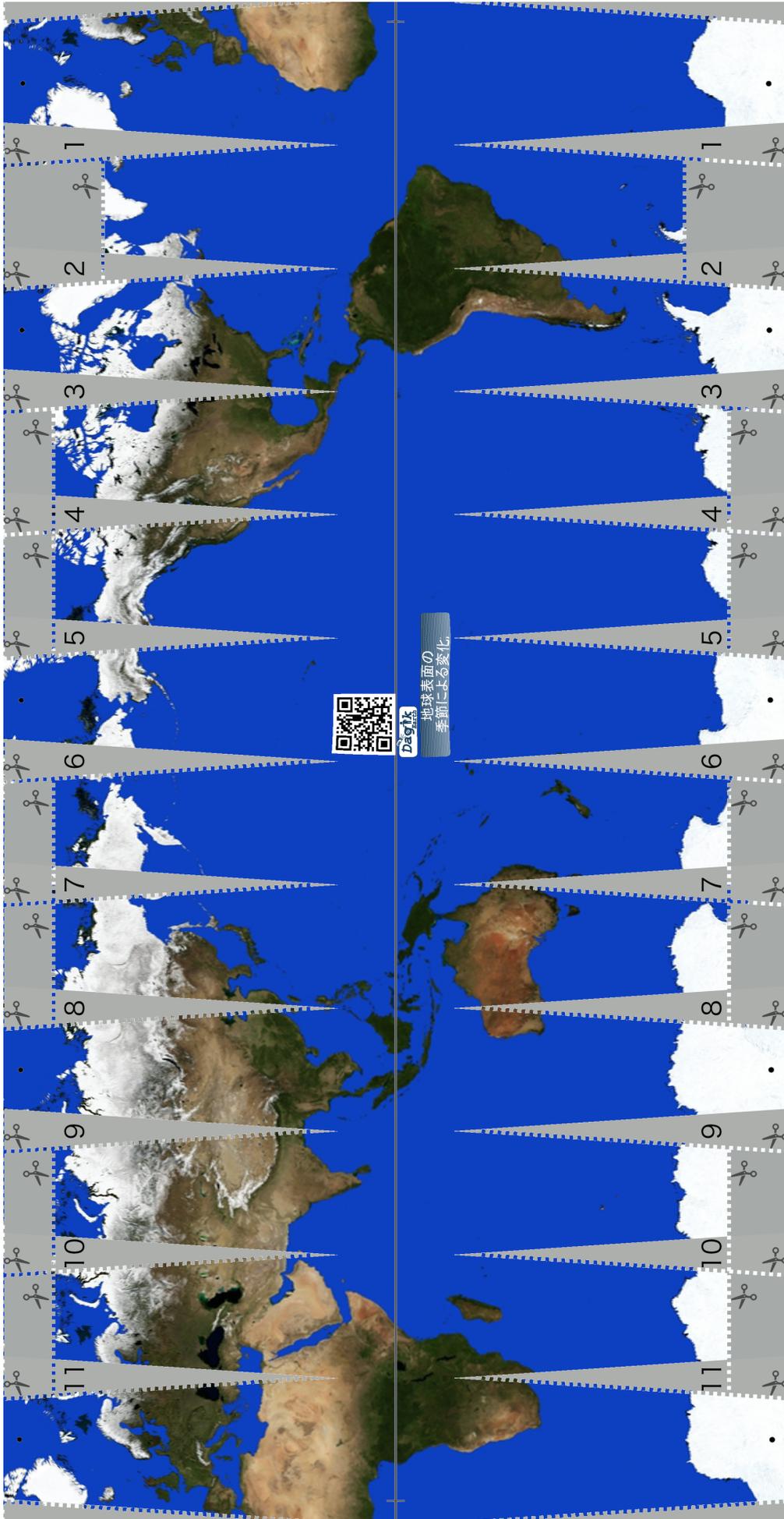
このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。

次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いならかなものできると、きれいになります。



地球表面の季節による変化

2004年5月

人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

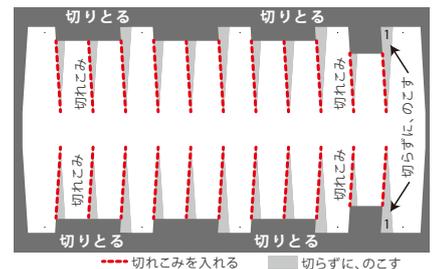
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



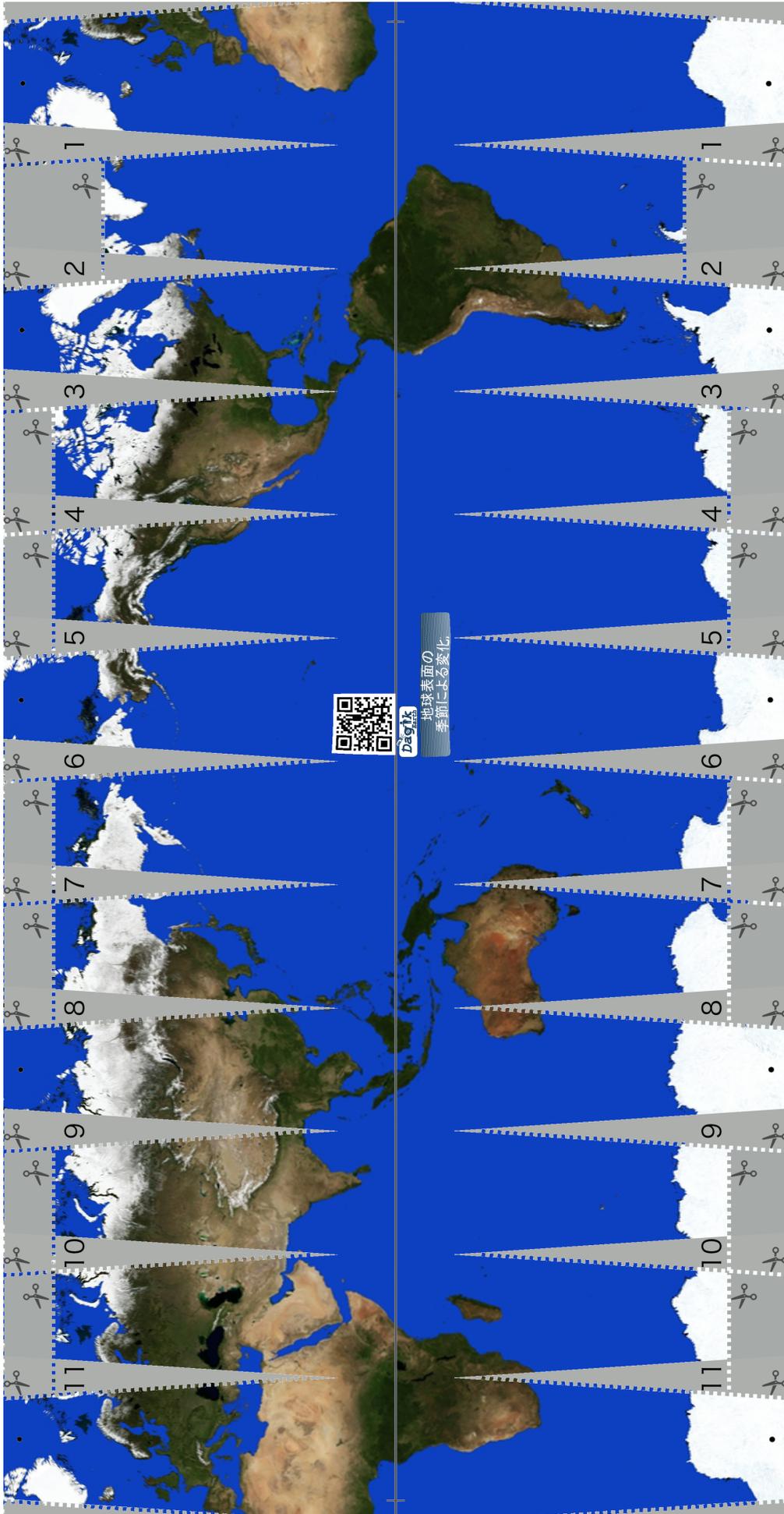
点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



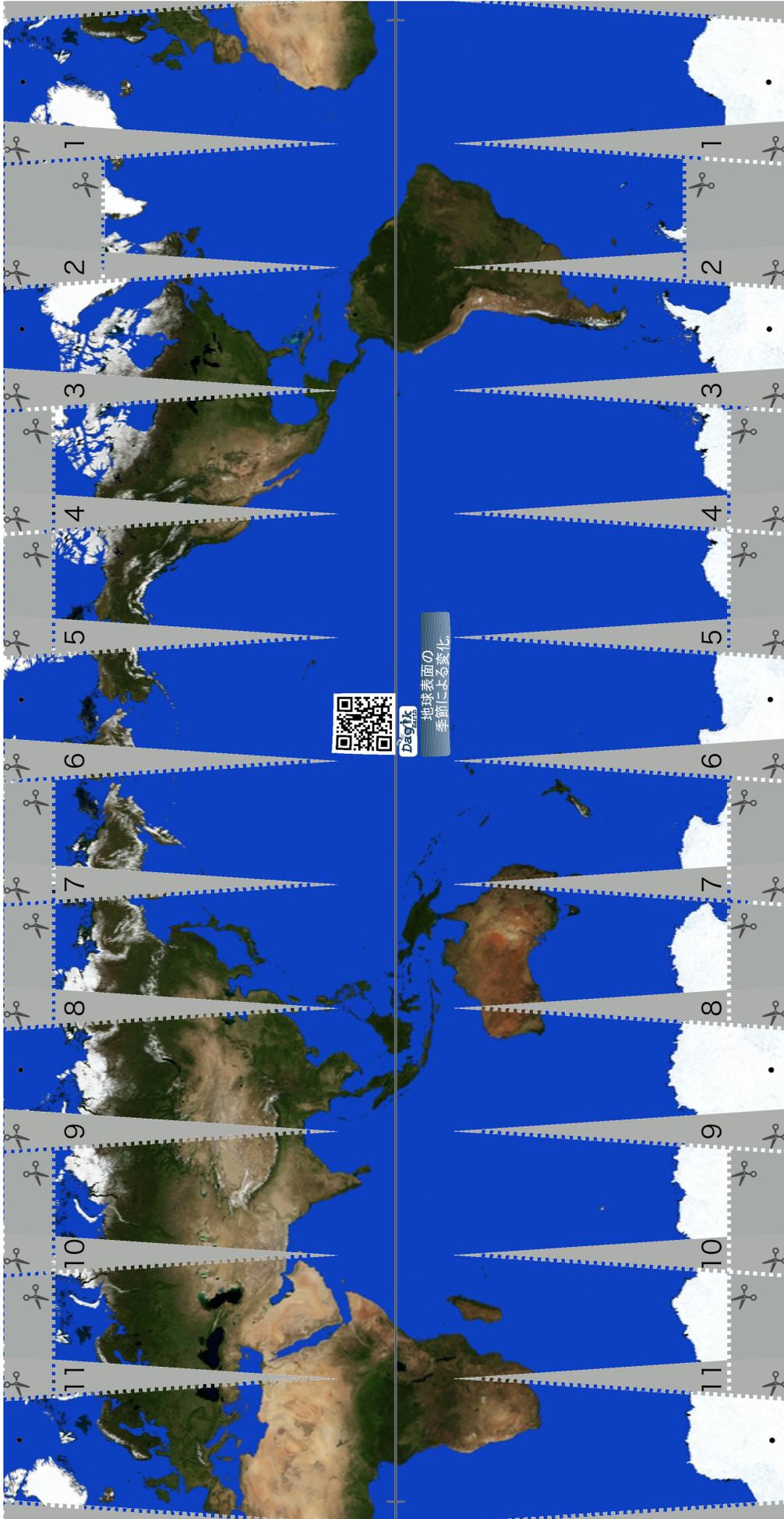
次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものできると、きれいになります。



Dagik 地球表面の季節による変化



人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのがわかります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

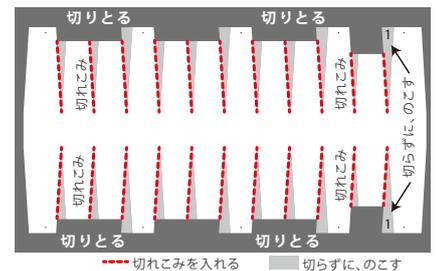
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



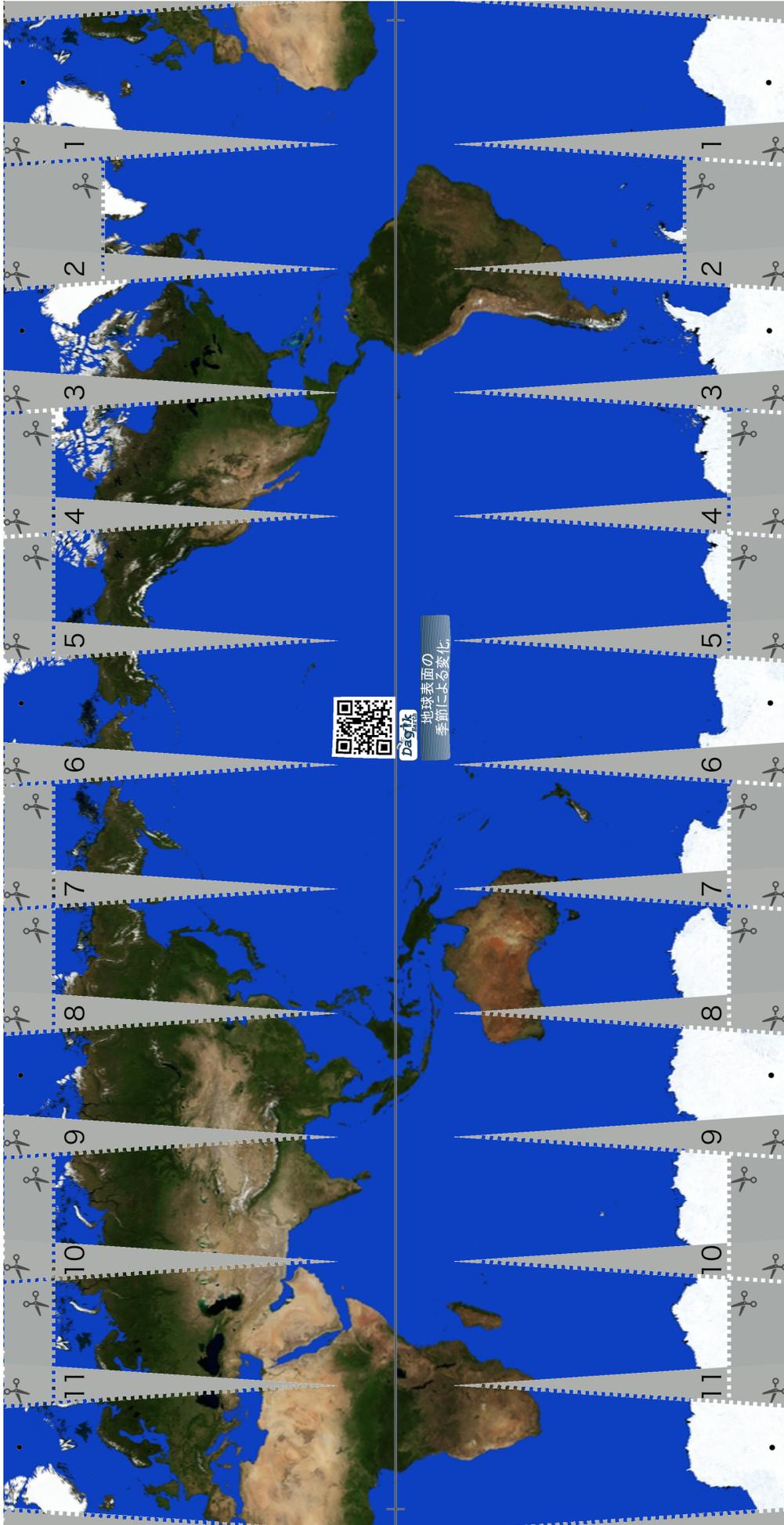
点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シフは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシフをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものできると、きれいになります。



人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのがわかります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。  
海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

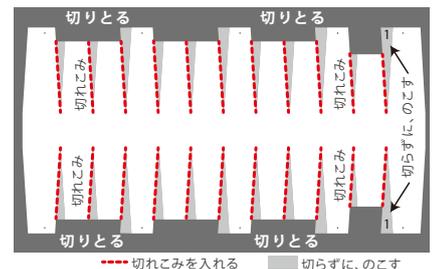
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



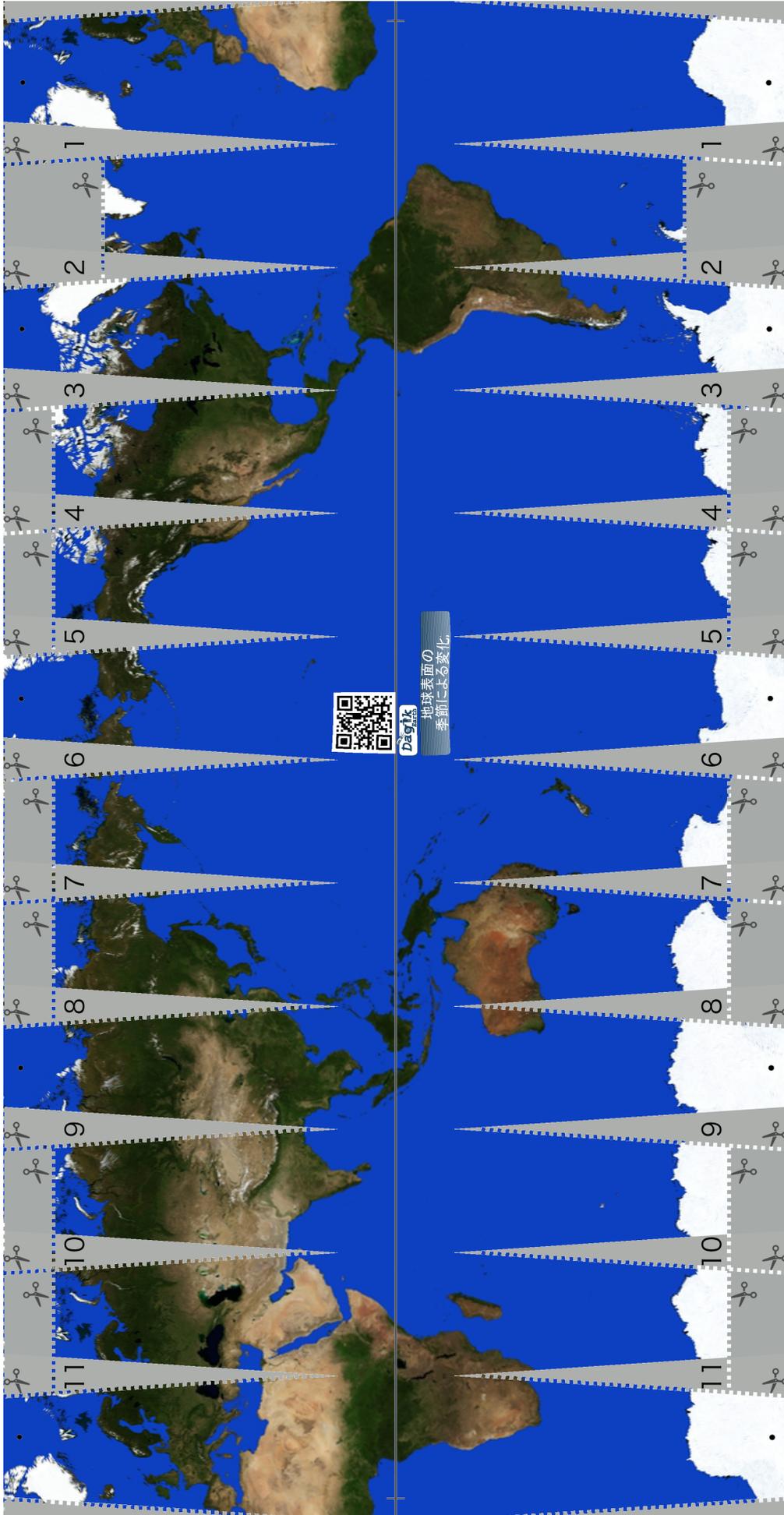
点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものできると、きれいになります。



人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

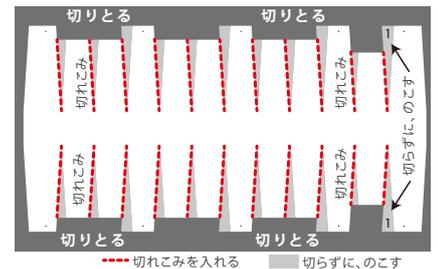
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものでこすると、きれいになります。

## 2004年9月

人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

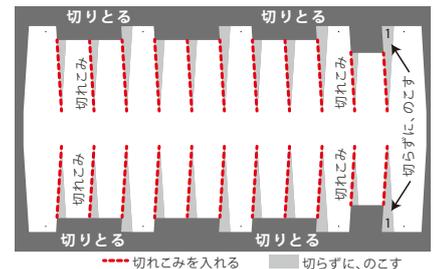
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



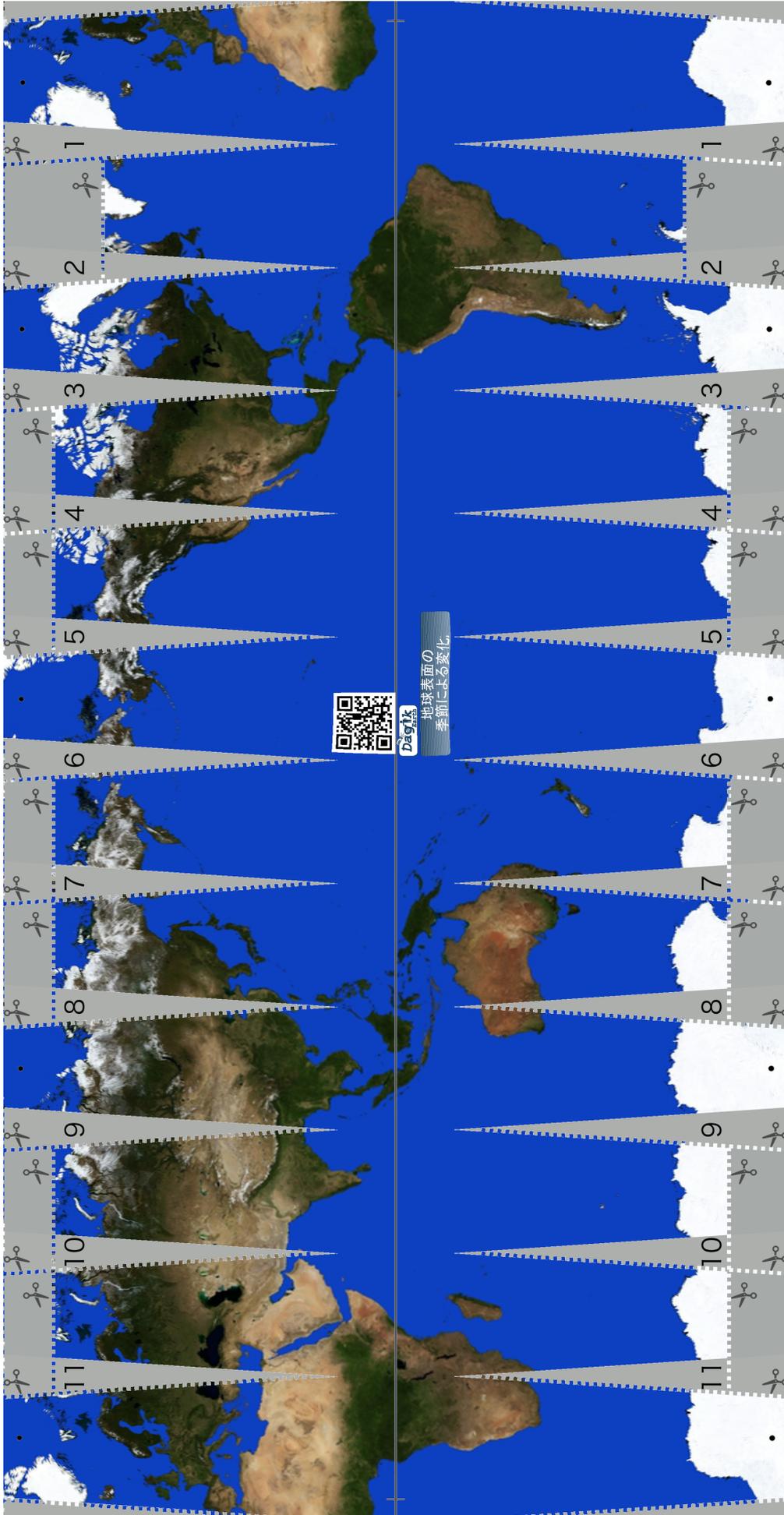
点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものできると、きれいになります。



## 2004年10月

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

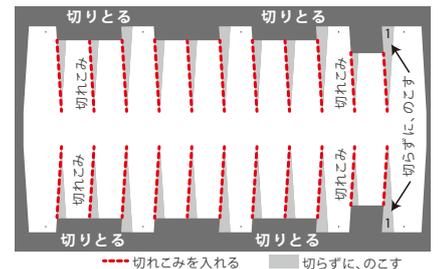
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

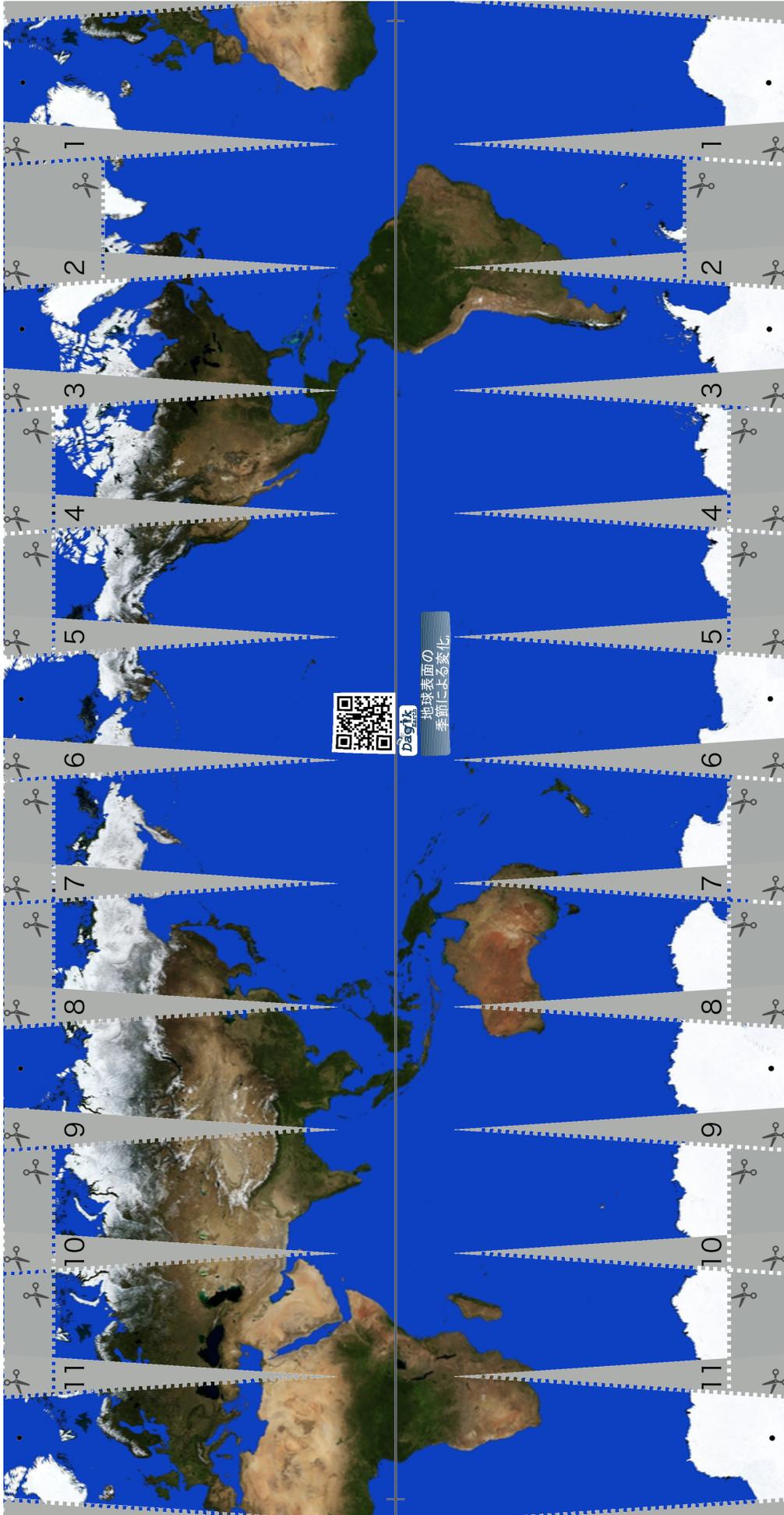
このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。

次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものできると、きれいになります。



Dagik 地球表面の季節による変化

## 2004年11月

人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

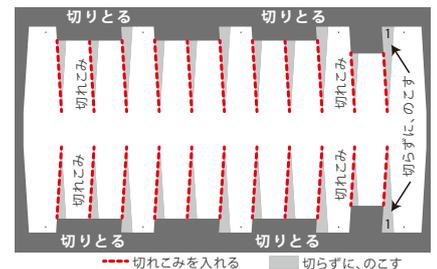
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。

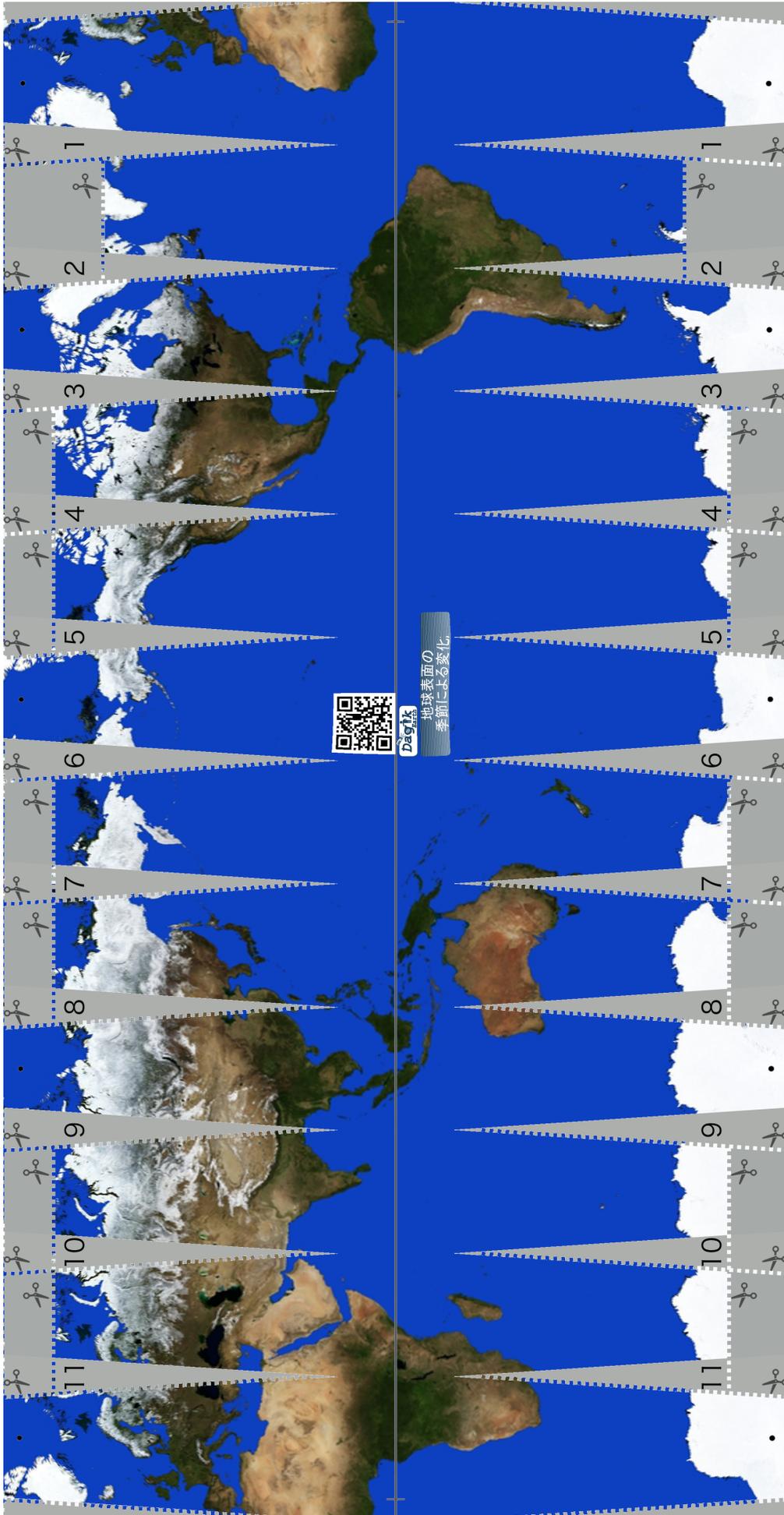


点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。

次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのような、硬いなめらかなものできると、きれいになります。



## 2004年12月

人工衛星によって観測された地球表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広がっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地球画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地球画像)。

海の色は変更してあります

地球画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地球画像提供:

NASA Earth Observatory

<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径8cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。

